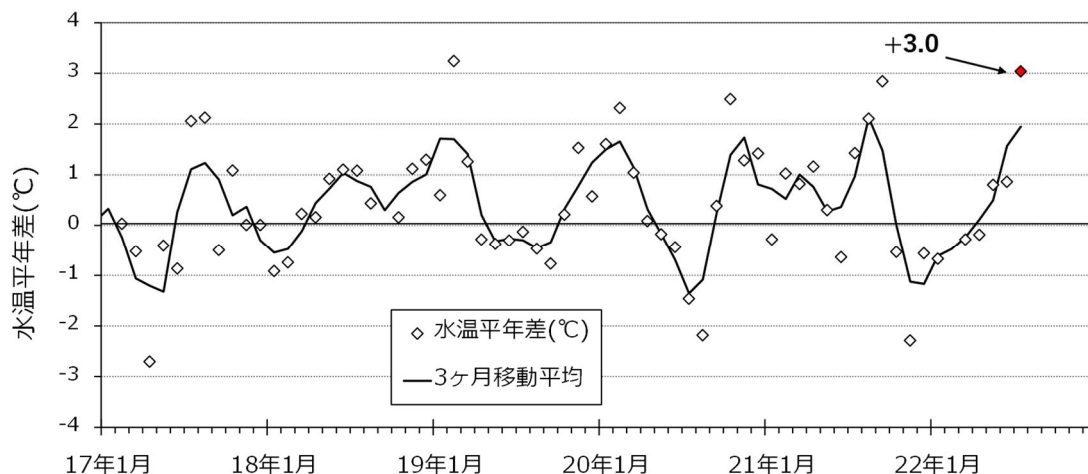


## 【水温の変動】

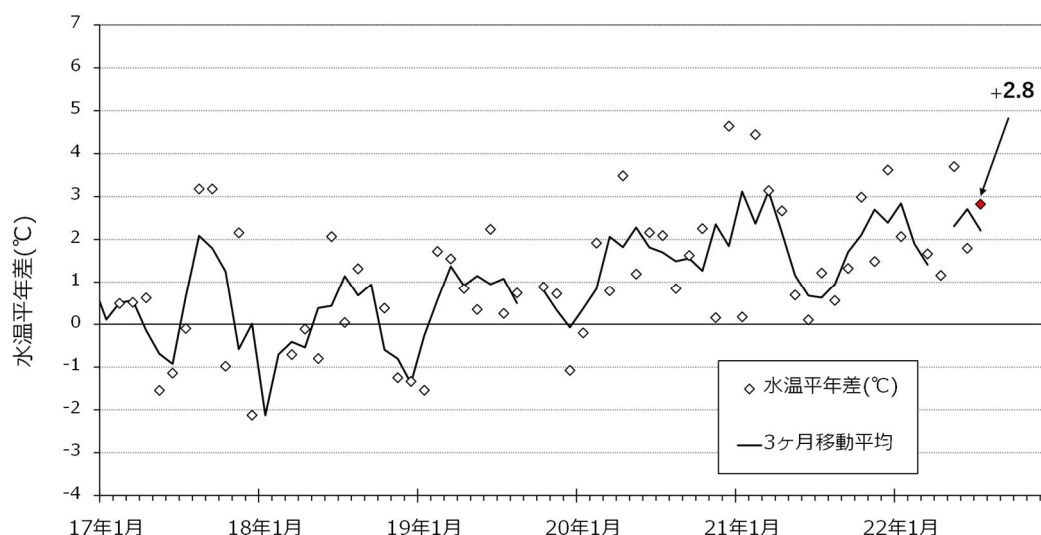
7月11、12日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。

湾口部では平年差+3.0°Cで極めて高めとなっています。沖合域は平年差+2.8°Cで極めて高めでした。7月11日の人工衛星画像によると、黒潮は室戸岬沖から南下を始め、遠州灘沖の北緯30度付近を通過して、北緯34度付近まで北上し、御前崎沖に接近した後、房総半島沖へ流れています。現在の流路は、流軸が御前崎沖正南を北緯33度以北で通過するAs型流路となっています。黒潮が渥美半島に接近しているため、渥美外海では暖水波及が強まっています。また、熊野灘から遠州灘の沿岸部は、比較的水温が低く、25°C前後となっています。

### 湾口部表層（A1）における水温平年差の変動



### 沖合域水深 200m（A4, A12, A19 の平均）における水温平年差の変動



※水温平年差は過去10年平均値との差

### 【渥美外海の海況】

渥美外海の水温は、表層で25.7~28.8℃、水深100mで14.8~19.8℃、水深200mで12.7~15.3℃となっていました。水温の鉛直断面図をみると、等温線の傾きは大きく、東向き強い流れがある模様です。クロロフィルa濃度は、沿岸域(A1~A10)の水深10~20m付近で最も高く、中間域から沖合域では水深50m付近に極大層が見られました。

### 水温の水平分布図と水温, 塩分, 密度, クロロフィルa濃度の鉛直断面図

